

令和5年（2023年）度 産学官・地域連携活動報告書

連携先名称：北海道

協定締結日：平成29年（2017年）3月30日

活動状況：継続中

連携先窓口：

活動資金：大学予算

担当教員(所属)：平山博樹（北方圏農学科・地域課題戦略推進委員会）

活動体制(単位)：大学

関連教員(所属)：千田聡（オホーツクキャンパス 総務課）

活動目的：

1. オホーツク流氷トラスト運動

・オホーツクの流氷を守るために地球温暖化防止などの環境保全活動を地域全体で進める。

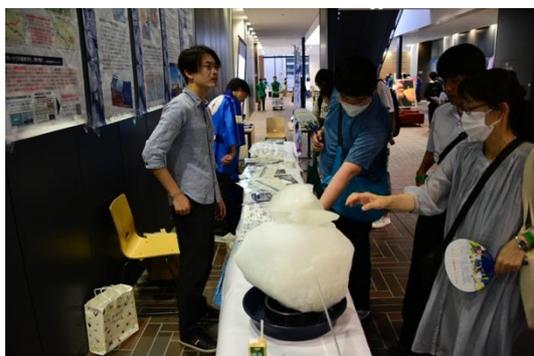
活動内容・成果：

1. オホーツク流氷トラスト応援団

・世田谷オープンキャンパスにおける流氷トラスト啓蒙ブースの設置

実施時期：2023年8月5・6日、参加人数：オホーツク振興局職員3名

内容：世田谷オープンキャンパスにて流氷およびポスターの展示を行い、流氷に関わる環境の変化を伝えるとともに、オホーツクの特徴を来場者にアピールした（写真参照）。



流氷トラスト運動の一環として小林真理教授のアザラシに関する研究を動画化し、YouTubeで公開した。

<https://www.youtube.com/watch?v=9dqgEHbiTHo>

YouTube で公開情報の記事は、北海道新聞 2024 年 2 月 22 日 掲載された。

2. 「オホーツク流氷トラスト運動」イオン店舗（北見店）啓発イベント

- ・東京農業大学在学学生による流氷に関するミニ講義

実施時期：2024 年 1 月 27 日、参加人数：計 9 名（農大教員 1 名、農大学生 1 名、オホーツク振興局 3 名、一般参加者 4 名）

内容：坂本真琴さん(海洋水産学科 2 年) および西野康人教授による流氷ミニ講座（10 分間）を 2 回実施した。

3. 「氷海の生態系から学ぶ流氷学ツアー」

- ・流氷減少による影響や流氷がもたらす効果などを伝える講演会

実施時期：2024 年 2 月 18 日、参加人数：計 26 名（農大教員 1 名、オホーツク振興局 5 名、一般参加者 20 名）

内容：まちなか網走のコワーキングスペース<ナシタ>にて、西野康人教授による 1 時間の講演を行った。

課題・改善点：※本年度の活動結果による具体的な課題・改善点を記載してください。

オホーツク振興局からの要望に応える形で流氷トラスト運動に協力したが、イオン店舗啓発イベントおよび流氷学ツアーは、効率的な啓蒙および広報活動とはいえなかった。オープンキャンパスにおける流氷展示は、世田谷キャンパス来訪者にオホーツクの環境を知ってもらう良い機会なので、できれば継続した方が良い。